

(2012年度)

4 世界史問題 (60分)

(この問題冊子は19ページ、4問である。)

受験についての注意

1. 監督の指示があるまで、問題冊子を開いてはならない。
2. 携帯電話・PHSの電源は切ること。
3. 試験開始前に、監督から指示があったら、解答用紙の右上の番号が自分の受験番号かどうかを確認し、氏名を記入すること。次に、解答用紙の右側のミシン目にそって、きれいに折り曲げてから、受験番号と氏名が書かれた切片を切り離し、机上に置くこと。
4. 監督から試験開始の合図があったら、この問題冊子が、上に記したページ数どおりそろっているかどうか確かめること。
5. 解答は解答用紙の各問の選択肢の中から正解と思うものを選んで、そのマーク欄をぬりつぶすこと。その他の部分には何も書いてはならない。
6. 筆記具は、HかFかHBの黒鉛筆またはシャープペンシルに限る。万年筆・ボールペンなどを使用してはならない。時計に組み込まれたアラーム機能、計算機能、辞書機能などを使用してはならない。
7. マークをするとき、枠からはみ出したり、枠のなかに白い部分を残したり、文字や番号、枠などに○や×をつけたりしてはならない。
8. 訂正する場合は、消しゴムでていねいに消すこと。消しきずはきれいに取り除くこと。
9. 解答用紙を折り曲げたり、破ったりしてはならない。採点が不可能になる。
10. 試験時間中に退場してはならない。
11. 解答用紙を持ち帰ってはならない。
12. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

- 1 次の短文(ア～セ)を読み、後の問(1～25)に答えなさい。答は選択肢(a～d)から1つ選び、正解がない場合はeをマークしなさい。

- ア 彼は、古来の農書の諸説を総合し、当時キリスト教宣教師によって伝えられた西洋の技術をもとり入れて、『農政全書』を著した。
- イ 彼は、モンゴル史を中心とする各地の歴史や地誌を、『集史』にまとめた。
- ウ 彼は、唐宋八大家のひとりで、紀伝体の正史『新唐書』『新五代史』を編纂した。
- エ 彼は、陸路西域を経てインドに赴き、ナーランダ僧院で学び、帰国後『大唐西域記』を著した。
- オ 彼は、陸路元の大都に赴き、帰国後獄中で『世界の記述』を口述したといわれている。
- カ 彼は、宰相として行政制度・軍隊・イクター制などを整備するとともに、スルタンがどのような統治を行ったらよいのかを説いた『統治の書』を著した。
- キ 彼は、古今の書物を集め、学者を動員して『四庫全書』を編纂させた。
- ク 彼は、後世の文人の範とされる、百数十人の詩と散文を集めた『文選』を編纂した。
- ケ 彼は、朱子学で重視する「四書」の注釈書として、『四書大全』を編纂させた。
- コ 彼は、自国の言語をあらわすための音標文字を創り、『訓民正音』の名で制定させた。
- サ 彼は、都市と遊牧民の関係を中心に歴史発展の法則を論じた『歴史序説』(『世界史序説』)を著した。
- シ 彼は、天文暦数・水利に通じており、暦法改定を命じられて『授時暦』を作成した。
- ス 彼は、陳朝の太宗の命によって、南越から李朝までの歴史を扱った『大越史記』を編纂した。
- セ 彼は、トルコ散文学史上の傑作とされる回想録『バーブル＝ナーマ』を著した。

問1 短文アの「彼」が、親しく交わったイタリア出身のイエズス会宣教師は誰か。

- a 湯若望 b 郎世寧 c 利瑪竇 d 南懷仁

問2 短文アの「彼」が、編纂にかかわった書物はどれか。

- a 『儒林外史』 b 『大義覺迷録』 c 『古今圖書集成』
d 『康熙字典』

問3 短文イの「彼」が属した王朝は何か。

- a イル＝ハン国 b カズナ朝 c セルジューク朝
d カラ＝ハン朝

問4 短文イの『集史』の著述で用いられた言語は何か。

- a モンゴル語 b ペルシア語 c アラビア語 d トルコ語

問5 短文ウの「唐宋八大家」に含まれないのは誰か。

- a 王安石 b 蘇轍 c 蘇軾 d 朱熹

問6 短文ウの「彼」が反対した政策の推進者は誰か。

- a 王安石 b 司馬光 c 朱熹 d 陸九淵

問7 短文エの「彼」がインドに赴いた時、「彼」を厚遇した王は誰か。

- a サムドラグプタ b チャンドラグプタ 2世
c ハルシャ＝ヴァルダナ d カニシカ王

問8 短文エの「彼」のインド旅行を舞台にした物語は何か。

- a 『三国志演義』 b 『紅樓夢』 c 『桃花扇傳奇』
d 『長生殿傳奇』

問9 短文オの「彼」が長年にわたって仕えたとされている人物は誰か。

- a モンケ=ハン
- b フビライ=ハン
- c オゴタイ=ハン
- d フラグ

問10 短文オの『世界の記述』中で、ザイトンの名で西方に紹介された外国貿易でさかえた都市はどこか。

- a 明州
- b 泉州
- c 広州
- d 臨安

問11 短文カの「彼」が、スンナ派神学・法学を振興するために創設したマドラサの名称は何か。

- a 知恵の館
- b ニザーミーヤ学院
- c アズハル学院
- d インジェ=ミナーレ

問12 短文カの「彼」が、宰相として盛期を現出させた王朝は何か。

- a ブワイフ朝
- b ファーティマ朝
- c アッバース朝
- d セルジューク朝

問13 短文キの「彼」の時代に行われたことは何か。

- a 軍機処の設置
- b 地丁銀の創設
- c ネルチンスク条約の締結
- d ジュンガルの併合

問14 短文クの「彼」が活動したのはいつのことか。

- a 5世紀前半
- b 5世紀後半
- c 6世紀前半
- d 6世紀後半

問15 短文クの「彼」の父親が傾倒した思想・宗教は何か。

- a 仏教
- b 黄老思想
- c 神仙思想
- d 五斗米道

問16 短文ケの「彼」の時代に行われたことは何か。

- a 里甲制の制定
- b 鄭和の遠征
- c 遷海令の施行
- d 中書省の廃止

問17 短文ケの「四書」に含まれるものはどれか。

- a 『春秋』
- b 『孝経』
- c 『荀子』
- d 『詩経』

問18 短文コの「彼」の時代に中国で起きたことは何か。

- a 土木の変
- b 紅巾の乱
- c 三藩の乱
- d 張居正の改革

問19 短文サの「彼」の出身地はどこか。

- a マラケシュ
- b グラナダ
- c コルドバ
- d チュニス

問20 短文サの『歴史序説』が著されたのはいつのことか。

- a 13世紀前半
- b 13世紀後半
- c 14世紀後半
- d 15世紀後半

問21 短文シの『授時暦』を参考にして作られた暦は何か。

- a 『グレゴリウス暦』
- b 『ユリウス暦』
- c 『貞享暦』
- d 『時憲暦』

問22 短文シの「彼」が仕え、また『授時暦』を施行したのは誰か。

- a フビライ=ハン
- b モンケ=ハン
- c カザン=ハン
- d チンギス=ハン

問23 短文スの南越の建国者は誰か。

- a 阮文岳
- b 趙佗
- c 李公蘊
- d 阮福暎

問24 短文スの陳朝の時代のことを述べたものでないのはどれか。

- a 漢字をもとにした字喃を国字とした。
- b モンゴル軍の侵入を退けた。
- c 科挙が行われた。
- d 徴姉妹の反乱が起きた。

問25 短文セの「彼」が、帝国を創始する契機となった戦いで破ったのはどの王朝か。

- a ロディー朝 b ハルジー朝 c トウグルク朝
- d サイイド朝

2 次の文章を読んで間に答えなさい。

A君は2010年現在18歳の高校三年生で家族構成は次の通りである。父は外務省職員で48歳、母は会社員で42歳。そして父方の祖父は80歳、祖母は76歳である。また妹は15歳の中学三年生である。この家族について以下の問(1～13)に答えなさい。解答は選択肢(a～eあるいはa～j)からもっとも適するものを1つ選びなさい。ただし、問6・11・13では3つ選ぶこと。

問1 A君が生まれた年に起こった事件はどれか。

- a チェルノブイリ原子力発電所事故
- b 李登輝の総統就任
- c 中韓国交樹立
- d アジア通貨危機
- e パキスタンの核保有

問2 A君の三年間の高校在学中に起きた事件はどれか。

- a 盧武鉉が大統領を辞任した。
- b 温家宝が国務院総理(首相)に就任した。
- c 江沢民が国家主席を辞任した。
- d アロヨが大統領に就任した。
- e メガワティが大統領に就任した。

問3 A君は修学旅行で沖縄に行き、その歴史を学んだ。次の記述の中で誤っているものはどれか。

- a 明に朝貢していたが、17世紀に島津氏が侵攻して以後、日中両属の体制になった。
- b 日本は1871年に沖縄県として直接統治下に組み込んだ。
- c 1874年、琉球人が台湾で殺害されたことを口実に、日本は台湾に出兵した。
- d 1945年以降の20数年間、アメリカの占領下にあった。
- e 1971年に沖縄返還協定が調印され、翌年日本に復帰した。

問4 A君の妹が小学生の時代に見聞きしたと思われる事件はどれか。

- a 湾岸戦争
- b ビン＝ラーディンの殺害
- c オバマ大統領の当選
- d 四川省大地震
- e スマトラ島沖巨大地震

問5 A君の父は25歳のとき中国に赴任したが、その年の中国の状況として誤っているものはどれか。

- a 天安門事件が起こる直前で、改革開放路線が強化されていた。
- b 四人組が逮捕された直後で、政治的な混乱が続いていた。
- c 鄧小平が健在で、政治に大きな影響力を保持していた。
- d 趙紫陽が中国共産党総書記であった。
- e 「社会主義市場経済」政策が推進されていた。

問6 A君の父は中国赴任後、中国国内の各地に赴く機会があった。そのときの記述として誤っているものはどれか。3つ選びなさい。

- a 西安を訪問したが、そこは唐王朝滅亡後には都を置かれていない。
- b 北京では明の永楽帝によって修築が始められた万里の長城を見学した。
- c 毛沢東の革命根拠地を訪問したが、井岡山は山岳地帯にあった。
- d 西湖のほとりの杭州は観光地として人気があるが、南宋が仮の都とした都市である。
- e 洛陽を訪問した際、近郊の雲崗に足をのぼし石窟寺院を見学した。
- f 北宋の都であった開封を参観したが、ここは洛陽の東にあった。
- g 南京を参観したが、ここはかつて建康・建業などとよばれており、清代に現在の呼称となった。
- h 香港を訪問したが、ここをイギリスに割譲したのはアロー戦争後の天津条約によってであった。
- i 赤壁の戦いの戦跡を訪問したが、それは長江の中流域にあった。
- j 広州を参観したが、ここには唐代にはじめて市舶司が置かれた。

問7 A君の父が生まれた年の(ア)中国の状況として、(イ)世界の情勢として正しいものはどれか。

(ア) 中国の状況

- a 中ソ論争が激化し、公開論争に発展した。
- b 紅衛兵が組織され、活発な活動をおこなっていた。
- c 人民公社が全国一斉に作られた。
- d 「大躍進」がスローガンとして掲げられた。
- e 林彪が失脚したため、政権内部は混乱していた。

(イ) 世界の情勢

- a アルジェリアがフランスから独立した。
- b ヨーロッパ共同体が発足した。
- c ヨーロッパ経済共同体が発足した。
- d ガーナがイギリスから独立した。
- e フランスで第五共和政が発足した。

問8 A君の母は22歳で就職し、貿易関係の職場に配属された。その年に日本企業が直面していた問題として正しいものはどれか。

- a 香港が中国に返還されたため、貿易事務のあり方が変化するのではないかと危惧されていた。
- b ソ連がアフガニスタンに軍事介入したので、ソ連の経済に影響するのではないかと懸念された。
- c ドイツが統一されたので貿易の拡大が期待された。
- d 米軍のイラク侵攻とサダム＝フセインの反撃によってペルシア湾の海運が危機に陥った。
- e 陳水扁が台湾のWTO加盟を成功させたので、経済のグローバル化が進むと期待された。

問9 A君の母は就職の3年後に東南アジアの支店に派遣された。このときの東南アジアの状況として正しいものはどれか。

- a 東南アジアすべての国が参加するASEAN10が成立していた。
- b ベトナムではドイモイ政策の失敗が指摘され、新たな経済政策が模索されていた。
- c シハヌークを国王とするカンボジア王国が成立した。
- d 中越戦争が勃発し、緊張状態が続いていた。
- e インドネシアでスハルトが大統領を辞任した。

問10 A君の祖父が生まれた年の東アジア情勢として誤っているものはどれか。

- a 中国では国民革命軍による北伐が終了し、統一が完成していた。
- b 蔣介石は国民政府主席となっていた。
- c 張学良が東北の実権を握り、日本に対抗していた。
- d 朝鮮で創氏改名政策が実施されていた。
- e 紅軍が結成されていたが、八路軍には改編されていなかった。

問11 A君の祖父が体験した可能性のない史実はどれか。3つ選びなさい。

- a 満洲に関東軍が設置されたというニュースを聞いた。
- b 真珠湾奇襲によって大きな戦果をあげたという新聞記事を読んだ。
- c 日本軍がシンガポールを占領したというニュースを聞いた。
- d アメリカ軍の爆撃機が焼夷弾を投下するのを見た。
- e フランクリン＝ローズヴェルトが死んだという新聞記事を読んだ。
- f ウォール街から世界的な金融恐慌がはじまり、あわてて銀行に預金を引き出しに行った。
- g 第一次石油危機が起こり、トイレット・ペーパーを買いに走った。
- h 日米安全保障条約の改定に反対するデモ行進に参加した。
- i 関東大震災が発生し、自宅が半壊した。
- j 朝鮮戦争の特需によって、復興景気に沸く町を目の当たりにした。

問12 A君の祖母一家は日本の植民地に移住しており、彼女はそこで生まれた。

彼女の生まれた場所として想定できないのはどこか。

- a 平壤 b 京城 c 台北 d 慶州 e 南京

問13 A君の祖父の父、つまり曾祖父は明治38年の生まれであったが、この年の中国に関する状況として適当なものはどれか。3つ選びなさい。

- a 四川省で鉄道国有化に反対する武装蜂起がおこった。
- b 光緒帝の治世の末期であった。
- c 1300年間余りにわたって続いてきた科挙が終わった。
- d 孫文を中心とした中国同盟会が結成された。
- e 中華民国の建国が宣言された。
- f 中国共産党が結成された。
- g 袁世凱が臨時大総統になった。
- h 湖北新軍が武昌で蜂起した。
- i 清朝は軍機処を廃止した。
- j 西太后は政治の実権を失っていた。

3 次の文章(I～III)を読んで、問(1)～(2)に答えなさい。

I. 地中海周辺地域では中世末期から肉食が広まり、これを背景として香辛料の需要が高まる。ヨーロッパでは手に入らない香辛料は高値で取引され、これを求めて東方との貿易、航路の開拓が盛んになる。特にレヴァント地方を押さええていたオスマン帝国を經由せずに、直接インド、アジアとつながる航路の開拓が求められ、羅針盤や帆船の改良も手伝って、いわゆる大航海時代が花開くことになる。

(1) 1498年ヴァスコ＝ダ＝ガマはインド西南岸カリカットに到達する。彼に航海を命じた国王を次の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a ジョアン1世 b ジョアン2世 c マヌエル1世
- d ヘンリ7世

- (2) イングランド国王の後援により、西回りのアジア航路開拓を試み、北アメリカ東海岸に到達、後のハドソン湾周辺を探検した人物を次の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。
- a カブラル b アメリゴ＝ヴェスプッチ c カボット
d バルボア
- (3) 香辛料の主産地でヨーロッパ人の主要な目的地となっていたモルッカ諸島領有の問題が1529年、ポルトガルとスペインの間で決着がつくが、このときの条約の名前を次の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。
- a サラゴサ条約 b カルロヴィッツ条約 c トルデシリャス条約
d メシユエン条約
- (4) その地球球体説がコロンブスの大西洋航路挑戦の契機となったとされるフィレンツェ出身の天文学者は次のうちの誰か。選択肢(a～d)から1つ選びなさい。
- a コペルニクス b トスカネリ c ガリレイ d ケプラー
- (5) エンコミエンダ制の説明として適切なものを次の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。
- a 軍人や官僚に対し、王朝への忠誠と引き替えに、その俸給額分を徴収可能な土地の管理権、徴税権を与える制度
- b 土地を所有する者が自らの土地を守るために、その地域の有力者にその土地を譲渡して、あらためて借り受ける制度
- c 征服地の先住民をキリスト教徒にすることを条件に労働力として使役することを認める制度
- d 現地の土地耕作者に対し土地所有を認め、同時に彼らから直接徴税する制度

(6) 主に大航海時代以降、資本主義を共通の特徴とし、複数の政治システム、文化的構成体を包摂しつつ、世界レベルの広域で展開する分業体制を「近代世界システム」と呼ぶが、この考え方をとなえた人物としてもっとも適切な選択肢を以下の(a～d)から1つ選びなさい。

- a レヴィ＝ストロース b マックス＝ヴェーバー
c レイチェル＝カーソン d ウォーラーstein

II. 以下の史料は1757年7月26日付のイギリス東インド会社機密委員会への報告書である。

「(ア) 占領、および、より重要な出来事、すなわちベンガル太守シラー・ジュッダウラの追放と、その座にミール・ジャーファルをつけたことを報告する。(中略)我が軍は、ヨーロッパ人兵士約一千、シバーヒー[インド人傭兵]二千、および大砲八門。(中略)夜明けと共に太守軍がわれわれに向かってくるのを発見。見たところ騎兵隊一万五千、歩兵三万五千、四十余の大砲を擁する。敵軍はたちまち間近に迫り、六時には激しい砲撃を開始、全軍を挙げての攻撃が数時間つづいた。(後略)」

(7) この史料はある戦いの模様を報告している。この戦いを次の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a テノチティトランの戦い b プラッシーの戦い
c ネーズビーの戦い d サラトガの戦い

(8) 空欄(ア)はフランスが1674年に占領したカルカッタに近接する都市だが、適切な都市名を次の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a ボンベイ b ポンディシェリ c シャンデルナゴル
d マドラス

- (9) この報告書を作成し、初代ベンガル知事となったイギリスの大佐の名前を次の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。
- a ハリス b マカートニー c アマースト d クライヴ
- (10) この報告書と同じ18世紀の半ば、南インドを舞台に3回にわたり行われ、最終的にはイギリスが勝利した戦争を次の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。
- a グルカ戦争 b カーナティック戦争 c マラーター戦争
d マイソール戦争
- (11) (10)の戦争で当初イギリスに対し圧倒的な勝利を収めたものの、本国に召還され失意の最期を迎えたフランスのインド総督を次の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。
- a デュプレクス b アルブケルケ c クレマンソー
d ブーランジェ
- (12) イギリスは、インド支配のために旧来の地主や領主の伝統的権利を近代的土地所有権として認める代わりに、彼らを地租納入の直接責任者とする土地税徴収制度を実施したが、この制度の名前を次の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。
- a ライヤットワーリー制 b マンサブダール制
c ザミンダリー制 d アシエンダ制
- (13) (12)の制度をイギリスがベンガルなどで導入した年は次のうちどれか。選択肢(a～d)から1つ選びなさい。
- a 1763年 b 1773年 c 1783年 d 1793年

(14) (10)の戦争と同時期，ヨーロッパでも並行して七年戦争が起きている。この七年戦争に参戦した国として適切でないものを次の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

a ロシア b プロイセン c スペイン d スイス

(15) 七年戦争に先立ち，オーストリアのハプスブルク家とフランスのブルボン家は歴史的な和解を果たす。これを外交革命というが，これが成ったときの両国の指導者としてふさわしい組み合わせを次の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

a ヨーゼフ2世－ルイ14世 b カール6世－ルイ14世
c カール6世－ルイ15世 d マリア＝テレジア－ルイ15世

(16) 七年戦争後のパリ条約でフランスからイギリスに譲渡され，その後再びフランス領となる地域を次の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

a セネガル b ガーナ c コンゴ d トーゴ

Ⅲ. 1492年コロンブスのサンサルバドル島到着以降，南北アメリカにおいてもヨーロッパ列強の進出，植民地経営が展開する。また特に北アメリカでは，17世紀末から18世紀にかけて，英仏の間で数度にわたる植民地戦争も勃発している。

(17) イギリスにとって最初の北米における植民地ヴァージニアを建設したのは誰か。次の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

a ローリ b ドレーク c ボイル d ハーヴェー

- (18) コルテスについての説明として適切なものを次の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。
- a インディオの酷使について、スペイン国王にあてた報告で激しく批判した。
 - b 1519年にユカタン半島に上陸、1521年アステカ王国を滅ぼした。
 - c カルロス1世の後援を得てインカ帝国を攻撃、1533年これを滅ぼした。
 - d スペインの探検家で、1513年、パナマ地峡を横断して太平洋に到達した。
- (19) アメリカ大陸で行われたイギリスとフランスの間の4つの植民地戦争について、戦争の起きた順に並べたものとして適切な答えを、次の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。
- a アン女王戦争－ジョージ王戦争－ウィリアム王戦争－フレンチ＝インディアン戦争
 - b ウィリアム王戦争－アン女王戦争－フレンチ＝インディアン戦争－ジョージ王戦争
 - c ジョージ王戦争－フレンチ＝インディアン戦争－アン女王戦争－ウィリアム王戦争
 - d ウィリアム王戦争－アン女王戦争－ジョージ王戦争－フレンチ＝インディアン戦争
- (20) 1789年の時点でフランス領だった地域を次の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。
- a サン＝ドマング b ケベック c フロリダ
 - d ミシシッピ以東のルイジアナ
- (21) イギリスが北米大陸に建設した13の植民地のうち、もっとも遅く建設された植民地を次の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。
- a ジョージア b ニューヨーク c デラウェア
 - d マサチューセッツ

(22) アメリカ植民地の独立を招いた原因のひとつが、イギリスが重商主義政策に基づき七年戦争後に発布した数々の法律であるが、あてはまる法律を次の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a 糖蜜法と航海法と羊毛品法 b 茶法と帽子法と印紙法
c 印紙法と茶法と砂糖法 d 羊毛品法と糖蜜法と印紙法

4 次の文章を読んで、空欄(1～20)に入るもっとも適切な語を選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

第28代アメリカ合衆国大統領の(1)は、46才で名門プリンストン大学の学長に選ばれるが、学内の教育改革をめぐる同窓会と鋭く対立して辞任。一転して政治の世界に身を投じ、ニュージャージー州知事に当選し、2年後には(2)候補者として大統領選に出馬し、見事当選した。その際のスローガンは(3)であり、大資本による(4)主義の抑制、民衆のための政治を強調する一方で、国外市場の拡大、並びにアメリカ(5)の理念を世界に普及することを道徳的使命と確信していた。

第一次世界大戦が勃発すると、直ちに厳正な(6)主義を宣言するが、やがてアメリカは英仏両国に対し、食糧や軍需物資の供給並びに融資を積極的に行うまでになる。しかし、(7)の客船がドイツの潜水艦によって突然撃沈され、多数のアメリカ人乗客が死亡するという(8)事件が勃発すると、アメリカの対ドイツ世論は急速に硬化していった。

そして、1917年2月、ドイツは(9)海軍による(10)に対抗せんとし、交戦水域に入った船舶は国籍を問わず無差別・無警告に撃沈するとの(11)潜水艦作戦の宣言を行った。その間大統領としての再選を果たすと、同年1月、上院で(12)と称される戦後国際秩序の構想を明らかにした。

やがてアメリカ船がドイツによって次々と沈められると、彼は参戦を決意し、4月初め、議会で対独宣戦を求める演説を行った。かくしてアメリカは、「(5)にとって安全な世界」を創るために戦うと高らかに宣言したのであ

た。

ところで同年、ロシアで(13)革命が起りロマノフ朝の崩壊となったが、(14)に(15)政権が成立すると、旧政権が連合国と結んだ秘密条約を暴露したのみか、無併合・(16)・(17)などの原則に基づく(18)を唱えて、新外交を展開した。

そこで、彼は(19)年1月、(20)を発表した。これは、ソヴィエト新政権による新外交に対抗する高邁な平和の原則を明らかにすることで、来るべき講和会議における国際的指導力を高める一方で、連合国政府を牽制することなどが期待されたのである。

- (1) a セオドア＝ローズヴェルト b ウィルソン c マッキンリー
d ハーディング
- (2) a 共和党 b 自由党 c 共産党 d 民主党
- (3) a 緊縮財政 b 宣教師外交 c 新しい自由 d ドル外交
- (4) a 独占 b 市場開放 c 機会均等 d 門戸開放
- (5) a 覇権主義 b 民主主義 c マニフェスト＝ディステイニー
d 資本主義
- (6) a 孤立 b 親英 c 中立 d 反戦
- (7) a フランス b イギリス c アメリカ d オランダ
- (8) a メーン号 b ルシタニア号 c ストーン・ウォール号
d パネー号
- (9) a アメリカ b フランス c オランダ d イギリス
- (10) a 海上封鎖 b 大陸封鎖 c 交易禁止令 d 中立違反
- (11) a 無制限 b 先制的 c 一方的 d 予防的
- (12) a 十四カ条 b 勝利なき平和 c 無併合政策 d 十五カ条
- (13) a 一月 b 三月 c 十月 d 十一月
- (14) a 一月 b 二月 c 十一月 d 十二月
- (15) a ボリシェヴィキ b ケレンスキー c 社会革命党 d 臨時
- (16) a 無償金 b 民主主義 c 共産主義 d 土地の私有権廃止

- (17) a 海上の自由 b 秘密外交反対 c 民族自決
d すべての権力をソヴィエトへ
- (18) a 平和に関する布告 b 土地に関する布告 c 四月テーゼ
d すべての権力をソヴィエトへ
- (19) a 1916 b 1917 c 1918 d 1919
- (20) a 十四カ条 b 勝利なき平和 c 二十一カ条 d 十五カ条

